



議会だより よつかいどう

発行：四街道市議会
TEL.043-421-6152

編集：広報広聴特別委員会
FAX.043-424-2016

〒284-8555 四街道市鹿渡無番地
E-mail:ygikai@city.yotsukaido.chiba.jp



和良比防災センター



研修室



防災倉庫



防災井戸

和良比防災センター

（場 所：和良比防災センター
撮影日：平成28年7月25日）

表紙写真
募集！

議会だよりでは、市民のみなさんからの公募写真を掲載します。
詳しくは16ページをご覧ください。

主な内容

- 広報広聴特別委員会
研修レポート… 2～3
- 主な議案の概要及び
委員会審査概要
…… 3～6
- 採決結果一覧…… 6
- 一般質問…… 7～13
- 都市環境常任委員会
行政視察レポート…14
- 全国市議会議長会表彰
……15

次回の定例会は8月29日～9月29日の予定です

一般質問は9月7日～15日の予定です。

詳細は市ホームページをご覧ください。

本会議の傍聴は、開会30分前から受付をしています。

本会議の様子は、インターネットでもご覧になれます

(生中継と録画中継があります)。

市ホームページアドレス <http://www.city.yotsukaido.chiba.jp>

詳しくは議会事務局 TEL.043-421-6152(直)まで

お問合せください。



広報広聴特別委員会研修レポート

1. 研修日 平成28年7月4日 (月)
2. 場所 千葉県自治会館
3. 研修内容
 - ①住民に読まれ、議会活動が伝わる。『議会広報の基本と編集技術』
 - ②議会広報クリニック



研修会の様子

7月4日、千葉県自治会館において、市町村議会広報研修会が開かれ、四街道市議会からは、広報広聴特別委員会委員6名が参加しました。

講師は議会広報サポーターの芳野政明氏で議会広報について様々なところで、講演や指導をされている方です。

まず、議会広報の目的は、議会と住民を結ぶものが議会広報紙であり、その役目を果たすには、まず読んでもらえる広報紙にすることが一番大事であること。

市民の皆様へ議会に対し関心を高めてもらい、議会を公開し地域課題や多様な意見を共有し、自治体の仕事ぶりと議会活動のチェックをするために、判断材料の提供をすることにより、市民の自治意識への向上にもつながることでした。

研修は2部構成で、
①住民に読まれ、議

会活動が伝わる。『議会広報の基本と編集技術』市民の関心を高め、"わが議会"をどう見ているかを意識し、広報広聴を活用し市民の意見を聞きそれを議会に反映させるとともに議会を公開し、議会への興味関心を広げて行くということ。そして、開かれた議会とその活性化は、広報活動の改革が不可欠で、広報の充実が議会改革を促すことでした。

②議会広報クリニック』言葉通り、広報紙の診断と評価をするもので、酒々井町、八街市、千葉市の議会広報の事例を参考にしながら具体的に学びました。

議会広報評価の目安・基準として、(1)発行目的にそった企画・編集になっているか。(2)読みやすさ、わかりやすさへの編集技術は、正確で簡潔、わかりやすいものであるか。

そのチェックポイントとして、議事公開、議会機能の発揮、読者への配慮、表紙の魅力、記事の内容や文章、基本フォーマット、レイアウトなどを細かく指摘されました。クリニックを行うにあたって、優れたところや改善点を確認・共有し、今後の編集活動に生かすことを基



研修会の様子

本目標にしているとのこと。議会は「民意を鏡のように映す」広聴的な役割と審議・調整を経て決定にいたる過程を市民にありのまま伝える広報の機能を持つ機関なのです。

市民の代表として多数の議員からなる議会は地域の各階層から生ずる住民ニーズ(民意)を幅広く自治体行政に反映させる住民の「窓口」であります。

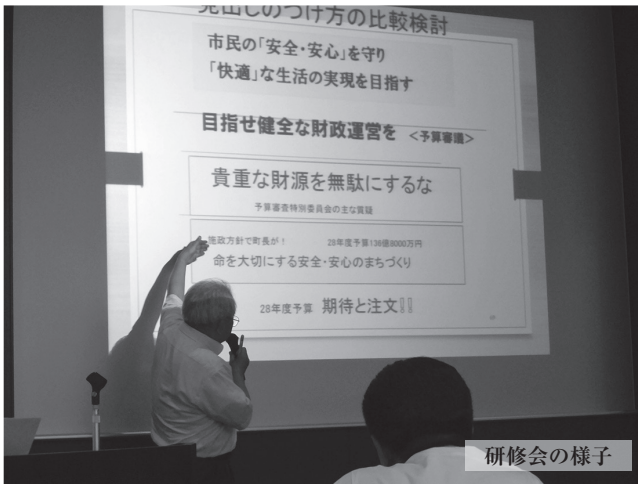
また、芳野氏は、議事が市民に伝わるまでが議会活動であり、議会諸活動が市民に伝わり、「情報共有」されるまでが議会の仕事であると度々述べておられました。

芳野氏の話される内容は、正

統派という感じになるほど深く関心いたしました。あくまで市民あつての議会であり、皆様の代表なのだとして改めて強く感じました。

現在、市議会では、「議会だより」を年4回定例会後に発行しております。広報と広聴によるやり取り、情報周知だけではなく、政策の情報公開にも力を入れ、市民の皆様とともに議会活動の充実と各種情報を共有していきたいと思えます。どんなに素晴らしい議会活動も、それを知ってもらおう努力を怠れば評価はなきに等しくなります。もっと多くの市民の皆様にも読んでいただくため、また、読んでみたい議会だよりになるよう、研修会で学んだことを参考にしながら、今後、広報広聴特別委員会をはじめ、議会全体で取り組んでまいりたいと思えます。

(坂本 弘毅記)



研修会の様子



研修会の様子

主な議案の概要及び委員会審査概要

今議会では、平成28年度一般・特別会計補正予算、専決処分承認など6件の議案と1件の発議案、2件の請願、1件の陳情の審議や議決が行われました。

主な議案と委員会での審査内容は以下のとおりです。

(採決結果一覧はP6)

総務

議案第1号 専決処分の承認を求めることについて
(承認)

【提案理由】 本案は、地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、市民税、固定資産税等に係る所要の規定を整備する必要が生じたため、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、同条第3項の規定により提案されたものである。

又は地方公共団体から補助金等を控除した額とする改正となる。住宅に一定要件を満たした省エネ改修工事を行った場合、固定資産税が減額されるもので、その改修工事は窓を必須とし、それに付随した天井、床等の断熱性を高める改修工事を行った場合、120㎡まで、税額の3分の1が減額となる。今回、改修工事費から国、地方公共団体の補助金等の額を控除した残りの金額が対象工事費となったもので、この額が50万円超の場合に適用となり、平成30年3月31日までに行われたものについて減額の対象となる。

【質】 熱損失防止改修工事に要した費用及び令附則第12条第36項に規定する補助金等というところについて、もう少し詳しい説明を。

【答】 本条の改正は熱損失防止改修工事に要した費用の額は、国



都市環境

議案第4号 佐倉市、四街道市、酒々井町葬祭組合規約の変更に関する協議について（承認）

【提案理由】 本案は、佐倉市、四街道市、酒々井町葬祭組合規約を変更することについて、関係地方公共団体と協議するため、地方自治法第290条の規定により提案されたものである。

【質】 規約の変更について詳細な説明を。また、葬祭組合議会に関する関係市町長も組合議会議員として構成されるのか。また組合議会議員の増員の説明を。

【答】 現行は、執行機関として管理者、副管理者の2名、組合議会議員が7名で構成される。組合の構成市町は、佐倉市、四街道市、酒々井町となり、現在の管理者は酒々井町長で、佐倉市長、四街道市長は組合議会議員として参画している。今後は、3市町長が、管理者、副管理者として執行機関に移行し、組合議会議員は、各市町の議会から選出されることとなり、これに

より執行機関1名、組合議会議員1名の増員となる。



議案第5号 平成28年度四街道市一般会計補正予算（第1号）（可決）

【提案理由】 補正の内容は、既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ2824万5千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ252億8175万5千円とするものである。

継続費の補正については、排水路整備事業（四街道西中学校地下貯留施設整備工事）の継続費の設定を廃止するものである。

〈都市環境常任委員会所管事項〉

歳入の補正については、道路橋梁費補助金の社会資本整備総合交付金9234万9千円の減額は、橋梁長寿命化対策事業が増額されたものの、排水路整備事業の四街道西中学校地下貯留施設整備工事他が減額となったことによるものである。

その結果、増額があった橋梁長寿命化対策事業及び減額があった事業のうち排水路整備事業の四街道西中学校地下貯留施設整備工事については、対象事業費の見直しを行い、舗装修繕事業及び交通安全施設保守・整備事業については、事業の必要性を再検討し充当財源の変更により事業を継続することとしている。

歳出の補正については、東関東自動車道を跨ぐ「永栄橋」と「内黒田橋」の橋梁補修工事分として540万円の増額及び四街道西中学校地下貯留施設整備工事分として1億3824万円の減額計上となる。

【質】 全体が2千トンで残りが1千トンなのか、残っているとこが2千トンなのか。

【答】 全体で3千トンで、残っているとこが2千トンである。

【質】 社会資本整備交付金が減額となったことで出来ると思うが、西中貯留施設を設置する目的は大日地区のゲリラ豪雨対策なのか。

【答】 西中周辺のゲリラ豪雨対策である。



【質】 残り3分の2の見通しは。 【答】 来年度、予算、交付金を要望する。

【質】 交付金の交付が決定された場合の振り分けはどのようになっているのか。国から使い道は決められているのか。

【答】 市で振り分けは決定出来る。

質 今回のいくつかの事業の中で西中の貯留施設は急ぐ必要が無かったということか。

答 現在、文化センター駐車場に貯留施設を施工中で、今年度中に完了させるために、こちらに重点的に配分をした。



教育民生

議案第3号 専決処分の承認を求めることについて
(承認)

〔提案理由〕 本案は、地方税法等の一部を改正する法律の施行に伴い、国民健康保険税の軽減判定所得の算定に関する所要の規定を整備する必要が生じたた

め、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分したので、同条第3項の規定により提案されたものである。

質 国保税の負担軽減による市への影響はどのぐらいと試算しているか。

答 1世帯当たり2万円の軽減とすると、今回の見直しの恩恵を受けるのは約110世帯と見込んでいるので、多く見積もっても200万円程度の減収となり、国・県の負担金が約7割あることから、市の負担は60万円程度となる。



議案第5号 平成28年度四街道市一般会計補正予算(第1号) (可決)

〈教育民生常任委員会所管事項〉

歳入の補正については、国の子ども・子育て支援整備交付金2496万3千円及び県の子ども・子育て支援整備交付金2496万3千円の増額は、南小及び四和小学校のこどもルーム建設工事の経費に係る国及び県からの補助であり、南小及び四和小学校のこどもルーム建設工事費として9897万2千円を計上している。

歳出の補正については、南小こどもルーム建設工事費5987万6千円は、南小学校に1棟2ルーム分のこどもルーム建設等工事費用として、四和小こどもルーム建設工事費3909万6千円は、四和小学校に1ルーム分のこどもルーム建設等工事費用を計上するものである。

委託料の番号制度対象システム改修委託料38万9千円は、新たに、予防接種の情報連携に係る健康管理システムの改修に要する経費を計上するものである。

質 情報提供ネットワークシステムと連携することによる効果は。

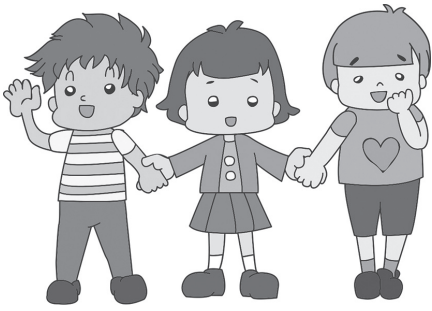
答 転出、転入があっても接種履歴がわかるので、予防接種スケジュール管理などが容易になるメリットがあると思われる。

質 こどもルームに関して、これにかかわる国、県の補助金、こどもルーム建設のスケジュール等の詳細な説明を。

答 補助金は、国、県それぞれ1ルームあたり832万1千円となる。このことから3ルーム分として、国、県それぞれ2496万3千円を補正予算として計上することとなる。

スケジュールとして、南小こどもルームについては、実施設計が平成28年4月から7月、本体工事については、確認申請が7月から8月、工事契約等については10月、工事期間については11月から翌年の2月ということで現在予定している。

四和小こどもルームについては、実施設計が8月まで、工事契約等については10月中旬、建築確認等については11月、工事については12月から翌年の2月を予定している。



質 四和小こどもルームの施設使用料について、来年の3月まで使用するという予定で契約を結んでいるが、工期が来年の2月までなら、開所予定を1ヵ月前倒しすることは可能か。

答 あくまで工期が2月までということなので、その後、指導員等の準備等があるので、現在の予算計上どおり、3月末まで自治会館での運営を考えている。



議案第6号 平成28年度四街道市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)(可決)

【提案理由】 補正の内容は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ86万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ115億6376万4千円とするものである。

質 行政情報システム改修委託先はどこか。

答 国保のシステムを導入している株式会社ディー・エス・ケイにお願いすることになる。



平成28年第2回(6月)定例会採決結果一覧

全：全員賛成 多：賛成多数 少：賛成少数 ○：賛成 ×：反対 退：退席

番号	議案名	結果	阿部百合子	津島秀樹	大越登美子	西塚義尊	成田芳律	栗原愛子	関根登志夫	中島康一	栗原直也	坂本弘毅	大谷順子	清水清子	※岡田哲明	戸田由紀子	石山健作	広瀬義積	山本裕嗣	森本次郎	高橋絹子	長谷川清和	阿部治夫	清宮一義
議案第1号	専決処分の承認を求めることについて	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	専決処分の承認を求めることについて	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	専決処分の承認を求めることについて	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	佐倉市、四街道市、酒々井町葬祭組規約の変更に関する協議について	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	平成28年度四街道市一般会計補正予算(第1号)	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	平成28年度四街道市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議案第2号	「介護離職ゼロ」の実現を求める意見書の提出について	少	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×		○	×	○	○	○	×	×	×	×
請願第1号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する意見書	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第2号	「国における平成29(2017)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に係る意見書	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第4号	「学校給食用食材の供給契約」に関する陳情	少	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×		×	×	○	○	○	×	×	×	×

※議長(岡田 哲明)は、採決には加わりません。

一般質問

第2回定例会では6月16日から24日の7日間、19人の議員による一般質問が行われました。この中から質問項目を要約して掲載します。

詳しくは、市立図書館、市役所2階の情報公開室に設置の会議録（9月上旬発行予定）、または市ホームページの会議録検索（第2回定例会分は9月下旬登録予定）でご覧いただけます。

各議員が行った質問については、紙面の都合により、一部だけを掲載しました。

市ホームページアドレス：<http://www.city.yotsukaido.chiba.jp>



市長の市政を問う

阿部治夫議員

問 千代田近隣公園内の櫻がおおきくなり、根がコンクリートの敷石を持ち上げ、障害を持っている方や高齢者にとっては、転倒の不安が付きまとう。改善策を伺う。

答 千代田近隣公園の園路内の平板の段差については、前年度も含め過去に数回、平板を撤去し特殊な土を使用し平らに整備している。今後も公園管理人の状況報告や、市担当職員による現場確認を行い、適宜対応していきたいと考えている。

問 御神輿用半纏の充実について、今年から千代田在住の方を中心に御神輿が出場すると聞いている。担ぎ手の統一した半纏があれば盛り上がりも高まると思うが対応を伺う。

答 四街道ふるさとまつりに参加される団体の衣装は、各団体で用意されている。貸出し用半纏は、寄贈された大人用55着と子ども用59着の色違いのものがあり、区・自治会の行事の際に貸出しており、数量は昨年と同数である。市では寄贈された半纏を引き続き活用したいと考えており、新たに半纏を購入する予定はなく、ご理解をお願いする。



財政状況について

坂本弘毅議員

問 四街道市の未来を拓くため、住み良い街づくり、子育て支援、福祉の充実等、各施策展開を図るためには、何より財源確保が必要不可欠である。そこで伺う。

経常収支比率が98・4%と過去最悪であり県内ワーストとなっているが、今後どのように改善するのか。

答 中長期の視点に立ち、全庁を挙げて、全ての経常経費を総点検して経常経費の削減に取り組みつつ、新たな歳入確保策を講ずるなどして、経常収支の改善を図りたい。

問 市税等の滞納者に対して、積極的な収納対策を今後どう強化していくか。

答 計画的な徴収対策の実施、口座振替の推奨、自主納付に向けた納税相談、差押えや公売の実施など、今後も収納率の向上に向け、更なる取り組みを進めていく。

問 小・中学校のごみ収集回数が減っているが現場の実情と声を聞いて早期に改善すべきだかどうか。

答 本年度より全ての市有施設のごみを事業所ごみとして収集運搬することとなり回数が減った。ごみを適切に収集運搬する必要があることから、現状の予算の範囲内で適正な収集運搬ができるよう工夫する。

問 八木原小学校の改修について、早期の予算確保と実施を改めて要望するが実現できるか。

答 千代田中学校の改修を最優先に考えているので、千代田中学校に引き続き実施したい。

四街道市の教育について

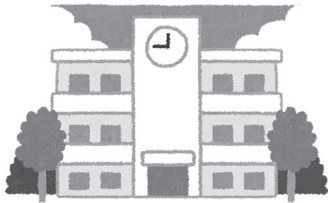
関根登志夫議員

問 四街道小学校、和良比小学校のトイレの洋式化が本年度予算で可決されたが、児童生徒、保護者の方は、とても歓迎している。これから児童生徒数に対し設置割合の低い小・中学校のトイレを洋式化して欲しいと思うがいかがか。

答 本年度、夏休み期間中、特に設置率の低い四街道小学校と和良比小学校の一部の更新工事を行う。引き続き、児童生徒数に対し、洋式便器の設置率が低い学校を中心に順次整備を進めるべく準備していく。

問 四街道西中学校をはじめ市内の小・中学校で行われている、「黙働」と呼ばれる清掃活動は、素晴らしい活動だと聞いているが、どのような活動か詳しく説明を。

答 「黙働」とは、私語を慎み、黙って集中して清掃に取り組むということであり、「黙働」という言葉を使っていない学校もあるが、市内のすべての小中学校が清掃指導において重点的に取り組んでいる。この活動では、掃除の仕方を中心に、勤労・奉仕の気持ちや自主性、協調性や責任感、規範意識など、心を育てることもねらいとしている。



四街道市の将来が展望できるまちづくり

中島康一議員

問 通学路の安全対策について、今までの回答から変更点はあったのか、また、通学路の危険箇所「排水路、悪路」整備「栗山小裏の通学路及びつくし座三丁目の排水路」について伺う。

答 平成27年度に、教育委員会から関係各課へ改善要望した箇所は44箇所であり、年度内に改善がなされた箇所は27箇所である。残り17箇所については引き続き対応中である。また、通学路の危険箇所「排水路、悪路」の整備としての標識や柵の設置については、各小中学校から通学路危険箇所として改善要望があった場合、関係各課に連絡し、改善及び対応を依頼している。

問 交通利便性の向上について、栗山地区の買物等の交通手段の確保について課題・問題点をどのように考えているのか。また、今後の対応について伺う。

答 利用者の利便性、経費の試算、その他運用などを比較検討しているが、効果や経費の観点からそれぞれに様々な課題が残っている状況である。現在、タクシー利用を中心とした方策の検討を進めており、国やタクシー事業者等関係機関と協議を重ねている。



「地方創生加速化交付金」事業

高橋絹子議員

問 国に採択された「地方創生加速化交付金」について伺う。昨年度から始まっている鹿放ヶ丘での「観光支援事業」の半年間の結果とその評価はどうか。

答 重要業績評価指標（KPI）として設定した、ふれあいセンター歴史民族資料室の来場者数は目標値の10倍近い608人の来場があり、鹿放ヶ丘の歴史や魅力について多くの方に知ってもらった一助となった。市内農産物を活用した試作品を2品開発する目標については、3品の試作品を開発し、いずれもモニターツアーで好評だった。事業の評価については、今後、外部委員による協議会等で検討される。

問 今年度の目標は何か。

答 開発した試作品や着地型旅行商品の販売に向けた検討を行う。

問 今年の3月に採択された「いんばの玄関口」よつかいどう、交流移住コンシェルジュ事業」は8月オープンとのことだったが、その進捗状況はいかがか。

答 組合設立の手続きを進めており、アンテナショップの設計等も並行して進めている。オープンは秋頃の見込みである。

問 この2事業とも市の立案ではなかったが、今後の市の役割と責任はどうか。

答 市が直接実施するものではないが、事業に関する情報提供や助言・指導など、市も積極的に関わり、責任を持って実施している。

四街道の未来に向けて

森本次郎議員

問 精神障害者の各種割引制度の充実を図れないか。

答 割引や免除の対象となるのは、公共機関の乗り物やNHK受信料などがあるが、JR旅客運賃、国内航空運賃などは対象とはなっていない。各種割引や免除の対象は、各事業者が、各々の判断基準により定められているもので、今後、対象範囲が広がることは、当該対象者にとって良いことと考えている。

問 交通政策審議会答申にある「総武線・京葉線の接続」実現に向け関係市と連携を図るべきではないか。

答 都心等へのアクセスで選択肢が広がる「総武線・京葉線接続新線の新設」は、市民の利便性が高まるものと認識しており、今後の動向を注視していきたい。

問 平成27年度寄付件数県内ワースト2位脱却に向け、ふるさと納税の取り組みを加速化すべきではないか。

答 一定の寄附金額をいただいた方へのお礼の品は、本年度中の実施を目指して関係機関と協議している。また、市の魅力を知っていただくため、市内で開催する体験型イベントの商品も考えている。

問 よつぼくんのラインスタンプのダウンロード数は。

答 フェイスブックやイベントを通じて告知を行い、今年の3月19日から販売を開始し、5月末現在で、300強の販売実績となっている。

都市計画道路の早急な見直しを！

栗原直也議員

問 平成27年度の経常収支比率の予想と今後の見直し、さらには改善に向けた取り組み状況について伺う。

答 経常一般財源等の増加が見込めるため平成26年度の98・4%からは改善する。今後の見直しは毎年度事業結果によるが、改善に向け、平成32年度までの複数年において歳入確保・歳出削減に取り組んでいく。

問 当市の厳しい財政状況下でのインフラ整備の在り方を記した公共施設等総合管理計画の策定を受け、都市計画道路の見直しに着手する考えがあるか伺う。

また、都市計画道路が全線開通するまでに必要と推定される年数と総事業費を伺う。

答 都市計画基礎調査や道路交通センサスなどの結果を基に、新たな見直しガイドラインが示された時点で再度検証を行い、公共施設等総合管理計画を踏まえ事業費の削減に努める。市単独で整備した場合、約230年で、事業費は約370億円である。

問 四街道駅北口広場再整備計画の目的と概要、さらには総事業費と交付金の補助率について伺う。

答 四街道駅北口広場再整備計画の目的は、昭和61年の供用開始以来、広場を取り巻く環境が変化してきていることから再整備を行うものである。概要は、歩道幅員の拡幅、バスバス（バス待機場）等の再配置及び歩行者デッキやエレベーターを設置する。総事業費は5億円、交付金の補助率は4割である。

公明党の4つのチャレンジから

西塚義尊議員

問 健康ポイント制度の導入について、社会保障の負担軽減となる取り組みとして、当市においても導入を開始すべきと思うかがか。

答 ポイント制度を導入している自治体の検証結果を注視し、健康づくりへの自主的な行動変容や健康行動を継続実施できる内容等について研究していく。

問 病児保育について、既に取り組みのある千葉市・市原市との新たな広域連携で取り組むかどうか。

答 広域連携の中で、新たな事業の一つとして連携できないか協議する。

問 市内の保育所から来年度、新たに小学1年生へと進学する人数と、各学校こどもルームの定員数との精査を問う。

答 認可保育所等に在籍している年長児216人が想定される。ルーム別の精査は、不確定要素が混在していることから難しいが、平成29年度当初において定員を超えると予想される学校は6校と思われる。

問 市営・県営等の集合住宅のゴミ戸別収集に関して共有エリアにボックス設置が見られるが、そこに暮らす市民の安心・安全とゴミ出し困難な方への配慮の両者が納得できるルールを示すべきだがいかがか。

答 集合住宅等の戸別収集ボックスは共用エリアへ設置していたが、今後は共用エリアへの設置は行わず、災害発生時における避難経路の確保に努める。

公共用地の活用について

大越登美子議員

問 今年度の貸付に鷹の台地区は入っているか何う。

答 今年度、貸付を行っている16件のうち、1件が鷹の台公共用地の一部992㎡である。

問 鷹の台公共用地取得経緯について何う。

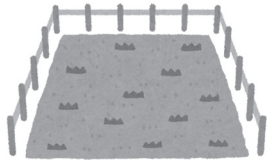
答 平成6年6月に、鷹の台地区の開発事業者から、公共公益用地として3800㎡が市に帰属されたものである。

問 鷹の台地区は長年放置されてきたにも関わらず、なぜ、今ここにきて計画予定ができたか、市基本計画に盛り込まれているとのことだが、住民の意見が反映されているか何う。

答 四街道市前期基本計画において防災備蓄倉庫及び保育所の候補地として考えていたが、当該自治会より、備蓄倉庫用地の検討を望む声があるため、自治会との協議を交えつつ、改めて慎重な対応を考えていく。

問 公共用地の活用については、住民調査、広く意見を吸い上げていただきたい。住民との対話を強く要望する。鷹の台街づくりのプロジェクトをお考えいただきたいかがか。

答 街づくりプロジェクトの概念が解らないが、必要であれば、地元の皆様方のご意見を伺いながら、基本計画の変更等も可能であると判断している。



ごみ有料化の前に減量化の努力を！

大谷順子議員

問 平成28年度から37年度までの新しいごみ処理計画では、ごみの有料化が記載されているが、有料化の目的、取組予定、対象品目、期待される効果は何か。

答 有料化の目的は、ごみ処理に係る負担の公平性の確保、ごみの減量化及びリサイクルの推進であり、対象品目は、可燃ごみと不燃ごみを予定している。また、可燃ごみは排出量の10%、不燃ごみは5%の削減効果を見込んでおり、平成32年度からの実施を目指している。

問 ごみの減量化については有料化だけが頼みの綱という姿勢だが、生ごみ減量化の新しい施策はあるのか。

答 生ごみの減量化については、ごみの発生抑制の啓発の中で生ごみの減量を含む食品ロスの削減方法等についても広報していくとともに、生ごみしたい肥化事業を行っている市民団体の情報提供や普及活動の支援等とおし、協同で取り組んでいきたい。

問 プラスチック・ビニールごみのリサイクルの割合、人件費、焼却費など何う。

答 リサイクル割合は収集量の概ね60%、人件費は約2450万円、外部委託費は2192万円である。

問 新ごみ処理基本計画策定にあたり、プラビニ類の処理についてはどのような検討がされたのか。

答 現行の分別収集継続を考慮しており、外部委託処理している部分については、次期ごみ処理施設建設と併せて検討を行っていく。

安保法制廃止の市民の声に対し市長の考えを再度問う

阿部百合子議員

問 安保法制は、廃止のための署名や新聞の調査でも「憲法をかえる必要はない」が過半数を超え、市民による政治改革の大きなうねりが出てきている。自治体の長として市民の生命・財産を守る責務をもっておられる立場から市長のお考えを3月議会に続き再度問う。

答 平和を愛する市民の願いは理解するところであるが、本法制は国の外交、安全保障に関わる国の重要な専権事項となるので、答弁は差し控える。

問 新総合事業の見通しは。

答 現行の訪問介護、通所介護は残し、緩和サービスの案を事業者団体に示した。住民主体による支援等についても、提供資源の把握をしながら進めていく。

問 難病療養者見舞金は、健康保険料が3割から2割に引き下がった理由などで、毎月支給だった見舞金が切られた。元に戻す考えはないか。

答 今後は、国の動向を注視しつつ、「障害者総合支援法」に基づく障害福祉サービスの提供に力を注いでいく。

問 毎年3月は進学のため、高額の新しい制服や教材をそろえる必要があり、前倒しでの就学援助費支給の運用改善を実施できないか。

答 就学援助費は6月に国から通知される「予算単価及び国庫補助限度単価」に基づき、7月支給になつているので、単価確定前の対応は難しい。

災害時に支援を必要とする人への支援体制

戸田由紀子議員

問 東日本大震災では高齢者及び障害者の被害割合の高さが顕著であったといわれ、障害者の死亡率は総人口に占める死亡率の2倍にのぼっている。平常時からの取り組みが大切と考える。

要支援者個別支援計画の策定状況と今後の取り組みは。

答 現在、43の区・自治会が「個別支援計画」策定への取り組みを開始している。今後は、昨年度に引き続き、区・自治会説明会の開催や市政だより等で広報を行い、理解、協力が得られるよう努めていく。

問 要支援者の方が参加する体験型の防災訓練・避難訓練についていかがお考えか。

答 今年度より市地域防災訓練の際、市民を対象とした避難誘導訓練の中で、実際に要支援者の方を避難所まで誘導していただく訓練を予定している。

問 平成29年4月からスタートする総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）の検討状況を伺う。

現行の訪問介護・通所介護相当及びそれ以外の多様なサービスの内容は。

答 訪問介護・通所介護相当サービスについては、現行と同様の人員基準、介護報酬、サービス内容とする予定である。それ以外の多様なサービスの内容については、緩和した基準によるサービスから導入する予定である。

問 サービス提供事業所へ基準や報酬単価の提示はいつ頃か。

答 本年10月ごろに説明会を予定している。

豪雨対策西中学校周辺の溢水対策事業の推進状況について

清宮一義議員

問 西中学校周辺では、豪雨対策事業を進められているが事業の進捗状況について伺う。平成28、29年度の事業費と合計事業費について伺う。28、29年度で完了させるとのこと、29年度に交付金が採択されない場合は、市単独費を費やしても完成させる。そして、生徒への授業配慮とこの地域の方たちへの水害に対する長年にわたる改善要望に応えていただけるとのこと、早期完成を望む。

答 四街道西中学校グラウンド地下に予定している雨水地下貯留施設については、平成28年度から29年度の継続事業で流入流出施設及び貯留施設約3千トンを整備する予定であった。しかしながら、交付金が減額されたことから交付金を有効に活用するため、平成28年度は、流入流出施設及び計画貯留量約3千トンのうち約1千トンの雨水地下貯留施設の整備を予定している。残りの貯留施設約2千トンについては、引続き交付金を活用し、平成29年度に実施したいと考えている。

問 千代田2丁目の道路と側溝のたるみについて、降雨時には道路や駐車場に浸水し、家から出られない。これらについて現状を把握しているか伺う。実態調査のうえ、早期に事業計画の予定があるか伺う。

答 千代田2丁目の道路のたるみは、自治会からの連絡票により降雨時の抜本的な冠水対策の要望があるので、路線全体の改修方法について検討する。

危機管理体制について

栗原愛子議員

問 災害時の高齢者や障害のある方の、福祉避難所としての受け入れ数の確保はいかがか。

答 市内の特別養護老人ホームや障害者支援施設など、11ヶ所と福祉避難所の設置及び管理運営に係る協力の協定を締結し、約530人分を確保している。

問 地方創生につき、障害のある方の就労の場所はあるのか。

答 事業の検討段階から障害者支援団体の関係者も企画に参画しており、障害のある方の就労の場を提供していきたい意向であると実施主体から伺っている。

問 母子、父子家庭の支援策の現状と、その方々が、求めている支援策は何か等、実態把握をしているのか。

答 児童扶養手当、医療費助成、保育料減免措置、母子・父子自立支援員による相談、高等職業訓練促進給付金など、ひとり親家庭に対し、経済的支援、生活支援及び就労支援となる施策を実施している。また、ひとり親家庭の現状把握のため、8月に、生活状況等を調査するアンケートを予定している。

問 市内道路につき、市として広く市民の環境作りを公平に行う上で、各地域への対応は。

答 道路関係の要望は、現場を確認し、状況により職員で補修等を行う場合や業者発注となる場合があり、要望箇所の交通量や危険性等を考慮し対応している。

人みどり子育て選ばれる安心快適都市

清水清子議員

問 生活困難者自立支援事業（くらしサポートセンター）の支援の内容、件数、また、生活保護申請との関連について伺う。

答 生活困窮者からの相談は、生活支援課とくらしサポートセンター双方で受け付けし、関係部署による支援調整会議により各相談への支援方法を決定している。平成27年度の相談件数は、214件であり、主な相談内容は、収入生活費、求職、病気等である。

問 旭中通学路の安全対策は喫緊の課題である。安全対策として新たなルートに向けた進捗状況を伺う。

答 新ルートの一部として、県道バイパスが考えられることから、暫定の供用開始の要望をしている。

問 障がい者が農作業の担い手として働く、農福連携が求められている。そこで、当市の取り組みについて伺う。

答 就労支援施設の生産する農産物の販売については、市役所庁舎内での販売スペースを確保するなど、引き続き支援を行う。

問 がん検診事業において吉岡・鷹の台地区の集団検診は吉岡小で1日だけ実施しているが、乳がん、子宮がんも吉岡小での検診を望む。そこで、各検診の現状と課題について伺う。

答 集団検診は検診車や医師の配置により、年間の検診日数や会場に制限があり、各地区の受診実績と市全体の検診の運営を考慮し、検診会場等を決定している。

保育所の待機児童の解消と職員の人件費の助成を

津島秀樹議員

問 保育士の確保のため、市独自の保育職員の給与助成をする考えはあるか。

答 現状の職員待遇改善費補助金を維持したいと考えている。

問 子どもの貧困が社会問題化する中で、学校給食の無料化を検討すべきであると思うが。

答 学校給食法第11条第2項においては、施設・設備に要する経費並びに学校給食の運営に要する経費は、設置者である自治体が負担し、それ以外の経費は保護者負担とされている。

問 残土条例の再改定で、厳しい罰則規定や不法投棄残土の全量撤去の義務化等を明確にすべきと思うが。

答 現在、規制強化に向け検討している。

問 税の滞納処分強化とあるが、資力がなく、生活困窮のため納付できない市民に対し、強権的な税の回収ではなく、生活困窮世帯の生活と健康を守る立場で、丁寧な対応をすべきと思うが。

答 納税相談通知等の発送により、滞納世帯との接触を図る機会を設けるようにしており、窓口や電話折衝によつて、現在の収支や生活状況を詳細かつ丁寧に取り扱税力の有無を掌握するように努めている。また、国保加入者は低所得者層が多くを占めているので、所得の少ない世帯や会社都合による失業者に対して、各種軽減策が措置されており、今後も国費投入などにより被保険者は守られていくと認識している。

高齢者福祉計画（第6期計画平成27年～29年）

山本裕嗣議員

問 高齢化社会が進む中、平成30年開設予定の仮称（医療、介護連携支援センター）の役割は重要になってくると思われることから取り組み状況を伺う。

答 国立病院機構下志津病院を運営予定者として、運営方針や相談体制等の協議を進めている。

問 在宅介護では、高齢者が高齢者を介護するような環境で、介護に疲れた事故や事件が報道されている。老老介護の現場の課題と対策を問う。

答 老老介護は医療や福祉サービスを利用することに抵抗感があるなど、閉鎖的な環境で疲れていくことが考えられる。対策としては、ひとりで抱え込まず、まずは地域包括支援センターに相談し、サービスを活用するなど、早めに対応することが重要である。

問 排水路対策については、文化センター地下貯留施設の進捗状況、北中下の内黒田付近の冠水対策で調整池が計画されている。スピードをもって進めてもらいたい現状について問う。

答 文化センター地下貯留施設等設置工事の進捗状況は、施工が順調に進んでおり、6月中旬現在の進捗率は、約40%である。また、北中下の内黒田付近の取り組み状況は、平成29年度より市の公共下水道として整備するため、平成28年度は、都市計画法及び下水道法の事業認可取得を予定している。

八木原小の校舎改修と給食食材の納入方法改善を

広瀬義積議員

問 八木原小学校は、モルタルのはがれた危険な箇所がある。いつ改修するのか。

答 八木原小学校の通路やベランダは、直ちに危険であるとは認識していないが、必要に応じて点検及び修繕等を行っていく。

問 学校職員では、見た目では壊れたところの通報や修繕依頼はできるが、専門的な知識がなく校舎等の管理や状況把握は難しい。維持管理を総合的に実施すべきではないのか。

答 教育委員会にも技師はいるので、初期段階での調査は可能である。大規模な改修となった場合は関係課と連携していく。

問 四街道市の学校給食費は、高いとの指摘がある。県内、県外他市と比較して四街道市の給食費の水準は。

答 近隣地区で比較すると、小学校の高いところは4780円、低いところは4430円、中学校の高いところは5700円、低いところは5060円となっており、四街道市が特に高い安いはないと考えている。

問 食材の納入については、契約方法がずさんであり、すべて随意契約など問題が多い。一定の保存性のある物について入札を今後検討しているか。

答 保存性のある調味料等については、価格競争の導入について調査研究を続けていく。

安心・安全・にぎわいのあるまちづくり

長谷川清和議員

問 四街道市はスポーツが盛んなまちであるが、その中でも、ソフトボールは小学生からシニアまで盛んなことが全国的にも知られているところである。しかしながら、四街道市には専用グラウンドがないので、整備する可能性があるか何う。

答 ソフトボール専用グラウンドの整備について、現段階は新たな施設の建設計画はないが、既存施設の有効活用などと併せ、どのような方法が考えられるのか調査研究していく。

問 新1年生だということが一目でわかるランドセルカバーについて、今年度は予算がなく、寄付によって配布したと伺っている。ランドセルカバーはとも目立ち、新1年生の安全な登下校のためには、欠かすことのできないものだと考えるが、来年度以降は配布についてどのように取り扱う予定なのか何う。

答 平成29年度に配布するランドセルカバーの予算については、補正予算で確保する予定である。なお平成30年度以降についても、登下校時における児童の安全のため、引き続き予算を確保していく。



◆よつぼくんラインスタンプ◆

LINE スタンプ…コミュニケーションアプリ「LINE」で提供されている。テキストメッセージに挿入できるイラスト。

都市環境常任委員会行政視察レポート

1. 視察日 平成28年7月20日 (水)
2. 視察先
 - ① 柏市第二清掃工場
 - ② 成田富里いずみ清掃工場
3. 視察内容

① 柏市第二清掃工場
 ごみ処理施設の現在の状況は、平成17年4月から稼動し、11年が経過した。平成23年3月の東日本大震災時の福島第一原子力発電所の事故による放射性物質の影響で灰溶融炉を休止している。

発電能力と売電の状況としては、発電能力は2500kW、年間3万トンのごみを焼却しており、1炉で対応している。1炉で灰溶融炉を稼動させると買電しなければならぬ。2炉運転でほぼ自家発電でまかなえる程度である。

現在は灰溶融炉を停止しているため、1炉運転ではあるが約24万kwh/年(平成27年度実績)を売電している。



柏市にて

清掃工場の建設費用は174億3千万円。

処理方式等の選定方法にあたっては、助役(現在は副市長)を委員長とする委員5名、技術委員5名からなる柏市第二清掃工場技術審査会を設置した。

検討期間は、平成11年5月(12年1月で、その間、8回の審査会を開催した。

審査会では、処理方式の検討、技術審査や発注方式を審議し、処理能力を決定した要因は、平成12年の一般廃棄物基本計画の改定において、平成30年度における柏市の必要な処理機能を500トンと推定し、南北に2500トンずつの清掃工場を整備することとした。

現在、当施設に係る課題としては南部クリーンセンター、北部クリーンセンターの他に、旧沼南町にある柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合の清掃工場しらせぎを加えると3工場体制になり、過大であるとの指摘がある。



柏市にて

② 成田富里いずみ清掃工場
 ダイオキシシン類問題を契機として、国からごみ処理広域化の方針が示され、これに基づき千葉県が平成11年に広域化計画を策定し、将来的には県全体を22ブロックに区割りした範囲とすることとなった。成田市は、隣接する富里市、八街市と合わせて3市の区域が1つのブロックとされていたが、八街市は広域計画化前からごみ焼却施設建設が進められていたため、成田市は富里市と共同で、ごみ処理体制を検討することとなった。

平成15年に成田市、富里市において広域化に向けた計画を取りまとめ、成田市内に施設を建設する方針を表明した。

平成17年に新清掃工場の建設について地元区の合意を得て、21年9月議会で、新清掃工場建設工事が可決、3カ年をかけ24年9月に建設工事が完了した。

建設工事費用は約93億4500万円。

機種選定については、平成17年8月に学識経験者・市議会議員・市民による「新清掃工場機種選定委員会」を設置し、11回に



成田市にて

渡る検討を重ね、熱分解ガスと炭化物に分離、溶融後、スラグ、メタルを生成するシャフト式ガス化溶融炉の採用を決定した。

選定理由については、委員会による評価結果が最も高かったことやごみ質の変化等への対応力が優れていること、維持管理費用の低減や最終処分場への負荷軽減等が図れる機種であることが主な選定理由となった。

現在、当施設に係る課題としては、年間約6万2千トン(外部委託を含む)の可燃ごみが搬入されており、計画量の1割増しの量となっている。また、稼働日数は、年間300日を越える状態が続いており、施設の整備・点検期間の確保が大きな負担となっている。

可燃ごみの削減が成田市、富里市の喫緊の課題となっており、平成27年10月から、溶融処理に負荷のかかるガラス・陶磁器類や搬入量の多い畳を外部委託することにより再資源化を図っている。また、今年度には、事業系一般廃棄物を中心とした搬入物の展開検査の準備を進めている。さらに、ストックヤード完成後、草・枝木の堆肥への有効利用を予定しており、長期にわたって安定したごみ処理の体制を整えていく。

(清水 清子記)

全国市議会議長会表彰

平成28年5月31日に開催されました第92回全国市議会議長会定期総会において、長年にわたり議員活動を行ってきた本市の議員4名が、全国市議会議長会から表彰を受けました。

表彰の内容は次のとおりです。

特別表彰

市議会議員として20年の長きにわたって市政の発展に尽くされた者。

阿部治夫議員

一般表彰

市議会正副議長として5年市政の振興に努められた者。

清宮一義議員

市議会正副議長として4年市政の振興に努められた者。

石山健作議員、山本裕嗣議員

また、議会初日の6月6日に、表彰伝達式を行いました。



清宮議員



阿部議員



山本議員



石山議員

■広報広聴特別委員会の設置について■

6月議会において、広報広聴特別委員会が発足しました。

当特別委員会は、議会基本条例に基づき設置されたものであり、市民の負託に応え、より信頼される開かれた議会を目指して、議会毎に議会だよりの発行とインターネットで公開している議会ホームページの掲載内容の協議及び議会報告会の企画・運営をすすめてまいります。

四街道市は、他市に比較しても急速に進む高齢化に伴う医療・介護施策や公共施設の老朽化、ごみ処理施設の更新、保育所待機児の問題などの行政需要が増大する状況の中で、市民税が減少しており、事業の廃止も含む効率化と市民ニーズを踏まえ新たなサービスや政策を実現することが必要となっています。このような状況下では、今までにも増した市民の皆さんの協力が不可欠であり、市民の皆さんの要望や意見を反映し具現化する機関である議会の重要性は増しています。当委員会としての使命を果たすためにも市民の負託に応え、より信頼される開かれた議会を目指して、活動を進めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

そのためにも議会（議員全員）として、できる限り多くの市民の皆さんへの活動の周知や要望ご意見をいただく機会を増やし、有意義な意見交換の場を設けていくことも重要であり、当委員会の役割でもあります。過去4回実施してきた議会報告会の充実が求められており、当委員会として議会報告会の開催方法や内容について検討しているところです。過去の議会報告会での反省も踏まえ、多くの市民の皆さんのご参加をいただき市の抱えている課題へのご意見やこれからのまちづくり等について活発な意見交換ができることを期待していますので、ご協力をお願いします。（広瀬 義積記）



後列 阿部(百)委員 大越委員 西塚委員 坂本委員
前列 中島副委員長 広瀬委員長 阿部(治)委員

平成28年議会報告会について
議会報告会は10月29日(土)午後2時から文化センター2階会議室で開催予定です。その際の討議テーマを募集しますので、8月26日(金)までに議会事務局宛にメール、FAX、郵送にてお送りください。

委員会	定数	委員長	副委員長	委員
広報広聴特別委員会	7人	広瀬 義積	中島 康一	阿部百合子 大越登美子 西塚 義尊 坂本 弘毅 阿部 治夫

表紙写真を募集します

議会だよりにては、市民のみなさまに応募いただいた写真を表紙に掲載いたします。募集要領は以下のとおりです。奮ってご応募ください。

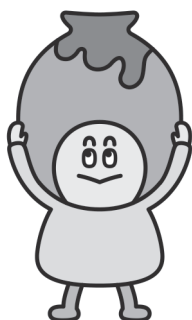
募集要領

- 規 格：2L(紙焼き)、カラーあるいはモノクロ(未発表、未公開のオリジナル作品)
※写真は編集上、トリミングすることがあります。また、応募された作品は返却いたしませんのでご了承ください
- 内 容：四街道市内の風景
※明らかに人物を特定できる場合はご本人の了承を得てください
- 審 査：広報広聴特別委員会
- 発 表：採用された作品は、11月15日発行の市議会だよりに掲載
※賞品等はありませんのでご了承ください
- 著 作 権：作品の著作権は製作者本人に帰属
※ただし、6ヶ月間他媒体での発表等をご遠慮いただくことを作品採用の条件といたします
- 応募方法：平成28年10月7日(金)(当日消印有効)までに、写真の裏面に撮影者の①住所②氏名③年齢④電話番号⑤撮影年月日⑥撮影場所⑦作品名を記入の上、〒284-8555 四街道市鹿渡無番地 四街道市議会事務局宛て郵送
- 問い合わせ：TEL.043-421-6152 FAX.043-424-2016
市ホームページアドレス
<http://www.city.yotsukaido.chiba.jp>

編集後記

改選後の広報広聴特別委員会
が設置され、新しく議員になられた方も含めて7人の委員です。
議会だよりは堅苦しく味気のないとの指摘もありますが、市民の皆様は親しみやすく、またわかりやすい紙面づくりに取り組んでいきたいと委員一同張り切っています。

(中島 康一記)



◎広瀬 義積
阿部百合子 大越登美子
西塚 義尊 坂本 弘毅
阿部 治夫
◎中島 康一
◎委員長◎副委員長